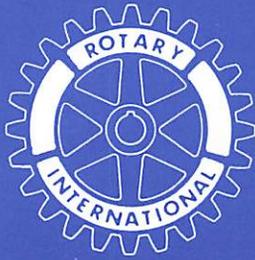


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 尾関武弘
幹事 伊豫田博明
会報・雑誌委員長 堀江宏輝

No.38 意識を喚起し——進んで行動を CREATE AWARENESS TAKE ACTION

2000~2001年度 RI会長 フランクJ・デブリン

きょうの例会

第901回 平成13年5月22日(火)

講演 “楳円”

名城大学理工学部数学科 教授 小澤 哲也氏
(紹介 水野(民)君)

先週の記録

第900回 平成13年5月15日(火)

晴

◆“我等の生業”

◆出席報告

会員	69(60)名	出席	52名
出席率	86.67%		
前々回	4月26日	(修正出席率)	95.24%

◆ビジター紹介

2名

◆ゲスト紹介

安田火災海上保険(株)
リスクエンジニアリング課長 小池 一徳氏
名古屋企業営業部第一課長 野村 泰弘氏
名古屋企業営業部第一課 河邨 敦氏
ぶらいむ器楽合奏団 主宰 蟹江 一子さん

伊豫田幹事報告

1. 本日例会終了後、クラブアセンブリーを開催致しますので、現理事役員・各委員長と次年度理事役員・各委員長の方は鳳凰の間にお集まり下さい。
2. 現在ご病気で休会中の秋山君ですが、お元気な声で今週19日(土)に退院とのご連絡を頂きました。年内自宅療養につき休会なさいますが、体調が良ければ7月第一例会には出席しますとの事です。

ぶらいむ器楽合奏団 主宰 蟹江一子さんご挨拶

私はぶらいむ器楽合奏団を主宰しておりますが、どうして主宰するようになったかと申しますと、ピアノとエレクトーン教室を開いており生徒さんやOBの人達と話していて発表会だけではつまらない、何か人の役に立つことをしようと思いが一致し「音楽を奏でることで自分達が満足するだけでなく、社会の一員とし



尾関会長挨拶

て役に立ちたい、私達の演奏で喜んでいただけるのであればこんな素晴らしいことはない」という気持ちからボランティアを始め、これまでもいろいろな施設で活動して参りました。そして今回は皆様からご後援をいただき、城山八幡宮にて「ふれあいコンサート」を開催することが出来ました。ありがとうございました。

将棋と囲碁は日本の世界に誇る知的競技であります。チェスとオセロはコンピューターに制覇されましたが、将棋と囲碁はまだまだ人間優位であります。将棋は相手の駒を取れば自軍として使えるため変幻万化、囲碁の打ち方も無限大にあると云っても過言ではない程多いそうであります。歴史的に見ますと将棋の起源は古代インドとされています。伝来ルートはいろいろあって定かではありませんが、平安時代には駒数68枚の大將棋が流行したとあります。それが駒数40枚となり取った駒を持ち駒として使える大変革が加えられたのは室町時代末期の様であります。碁の起源は古代中国で、日本への伝来は奈良時代の遣唐使によるものとの説もありますが、正倉院宝物の碁盤も箱盤である事から奈良朝以前に朝鮮半島経由で渡来したものと思われまふ。この二つに対照的な現象が起こっています。第一は愛好者の違いで将棋は男が中心ですが、囲碁は女性の間にも普及し大会ではその姿も少なくありません。第二は最盛期の年齢で、プロのタイトル保持者の年齢を比べると将棋は20代から30代なのに対し囲碁は40代、どちらも座って盤面を読むゲームですが、専門家の言葉を借りれば「文脈的な将棋と幾何学的な

囲碁とでは頭脳の働き方が違う」と云います。もう一つは国際性であります。将棋は世界各地に伝わり、その社会や軍備を反映し、盤を戦場と見立てて様々な地位と機能をもった駒を動かすゲームとして発展しました。チェスにはキリスト教のビショップがありますし、中国の象棋には城壁環濠が設けられています。どちらも城攻めのゲームであります。これに対し日本の将棋は野戦と云えます。王将は八方に動けるが一步ずつと云うのが日本的で、トップの重い腰を映していると思います。相手の駒を取れば戦力として使える事にしたのは、敵方の武将を降参させると次は自軍の先頭で働かせるのが戦国社会の常だったからだと云われています。武士の現実主義とでも云うべきでしょうか。一方、囲碁は基本ルールが万国共通のため、人種、国籍を超えて愛好者が多く、日本でもタイトルの半分は外国人で占められています。又、日本生まれの段位制が中国や韓国で採用されているのも大きな特徴であります。

◆講演

“企業経営とリスクマネジメント”

安田火災海上保険(株)

リスクエンジニアリング課長 小池 一徳氏
(紹介 大口君)



1995年の阪神淡路大震災を契機にリスクマネジメントへの関心が高まり、昨年発生した乳製品メーカーの食中毒事件や自動車メーカーのリコール隠蔽事件では企業の危機管理がクローズアップされました。昨今リスクマネジメントが注目される背景には、低成長時代における収益率重視や含み益減少で能動的にコスト削減と損失発生をコントロールしていくことが求められ、一方、賠償意識の高まりや企業の社会的責任に対する要求が強まっていることが挙げられます。不確実性の時代で、企業の経営基盤が思わぬ脆弱性を有し、リスク抵抗力が低下している傾向があるようです。

リスクマネジメントとはどのような概念かと申しますと、「組織の目的に沿って、最小の経常化されたコストでリスクの悪影響を極小化するための組織活動」であり、その究極の目的は倒産防止、つまり企業倒産からの防衛戦略といえます。具体的には、リスクの存在を認識し、そのリスクによる損失の大きさと頻度を評価し、リスク軽減のための対策と万一顕在化した場合の損失軽減策を計画し実施するための管理活動で

す。このプロセスは、医師の医療行為のプロセスである、診察、診断、処方(予防)、治療、予後観察と合わせて考えると比較的わかりやすいと思います。

では日本企業においてリスクマネジメントに関する業務が行われていないかと申しますと、多くのリスクは日常業務として担当部署で対処されています。施設の防災対策が図られ損害保険が手当され、労災や社員の不祥事は労務部門、訴訟問題は法務部門、資金調達や資産運用リスクは財務・経理部門と、それぞれの部門で一応滞り無く機能しているように見えます。課題はこれらの業務が複数の部門に分散しているために、全社的な統制や一貫性が欠如している点、各部署の担当者に自社企業のリスクを管理しているという意識がなく、他の業務の片手間としてリスクマネジメントが行われていることではないでしょうか。結果としてコストの合理的投下にならず、リスクの掘り下げが不十分となります。中小企業においてはこれらの担当部署がない場合があり、経営者が一切のリスクに対処する必要が生じます。

企業リスクマネジメントを推進し実効あるものにするためには、目の前の顕在化したリスクのみに対処するという「モグラ叩き」から脱却すること、イメージできないリスクはマネージできないことを知りリスク感覚を磨くこと、経営者のリーダーシップのもとトップダウンと社内コミュニケーションにより意識改革を図ることが重要と言えます。

リスクマネジメントが注目される理由？

低成長下の事業 → 収益率重視、コスト意識高揚、含み益減少、企業の経営基盤の脆弱性

価値観の多様化 → 賠償意識の高揚(商法改正、PL法知的所有権)、環境責任、社会的責任

不確実性の時代 → 事業の多様化、複雑化、国際化規制緩和、情報化社会

大災害・事件の発生 → 阪神淡路大震災、東海豪雨、放射能臨海事故、乳製品食中毒事件、リコール隠し

※ご用意頂いた資料とスライドを使い、解りやすくご説明いただきました。

例会変更のお知らせ

- 名古屋南RC 5/23(水)春の家族会の為 5/27(日)
- 名古屋和合RC 5/23(水)春の家族会の為
5/26~5/27 蓼科方面へ
- 名古屋名北RC 5/23(水)錦RC合同夜間例会及び
I.D.M.の為、名古屋ガーデンパルスにて
- 豊山-城北RC 5/29(火)夜間例会の為

◆紙面の都合上、ニコボックスは次回掲載と致します。

◆次回例会(5月29日) 友愛の日